

第2回ワークショップ

6月29日 木曜日 午後6時～ 場所：中部大学鶴舞キャンパス
グループ2

テーマ：堀川に関わる連携方策

参加者リスト

氏名	団体名
松尾 直規	中部大学
東山 尚	(社)中部経済連合会
伊藤 康隆	(社)中部経済連合会
西田 忠司	名古屋堀川ライオンズクラブ
坂川 公之	名古屋市堀川整備室
井上 祥一郎	伊勢、三河湾流域ネットワーク
古谷 健蔵	庄内川河川事務所
石浦 薫	武家の里 観光ボランティアの会 (7月より 観光ボランティアの会)
加藤 敏夫	名古屋堀川ライオンズクラブ
服部 宏	名古屋堀川ライオンズクラブ
新村 孝行	中部地方整備局 河川部
戸松 高基	名工大プロジェクト堀川
高橋 慶彦	名工大プロジェクト堀川
開地 勇介	中部大学松尾研究室
川本 拓哉	中部大学松尾研究室

1、討論内容

- ・第1回ワークショップの復習
- ・前回の課題にした現状把握をするため「堀川に関わる市民団体」の調査報告
- ・市民団体の活動内容報告
- ・どのような連携をしていくか
- ・いつ、どのような場所で連携していくのか
- ・ 継続可能な情報発信拠点をつくる。
 - ↳産=官=学 のそれぞれに情報拠点を作りネットワーク化→情報発信と情報共有
- ・イベントの利用→イベントを利用して連携を深くする

↓

例 ウォーターマジックフェスティバルを通じて連携を深める

2、まとめ

- ・ 縦軸に団体名、横軸に暦をとり、堀川での活動カレンダーをつくる。
 - ↳（中経連でひな型を作成済）
- ・市民の関心を得るために行政が窓口サイトを作った方がよい。
- ・インターネット情報の共有の活発化（バックアップする団体など）
- ・将来何か残るものをつくる

最後に次回へのテーマとして、情報交流するにしたがって

- ・堀川に関わる市民団体相互の交流状況
- ・なぜ交流が必要なのか？
- ・メリット、デメリット
- ・仕組みの設計

を考えてくるとよい